

網地島ライン株式会社

- (1) 情報公開シートⅠ（P D C Aサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡの補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録（作成していないため不添付）
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 30 年 7 月 17 日

市所管部署 石巻市 復興政策部地域振興課

2 法人名称等

法人名称 網地島ライン株式会社
 法人所在地 石巻市 門脇町三丁目1番19号
 設立年月日 昭和 53 年 7 月 28 日
 代表者職・氏名 代表取締役 安倍 友一

設立目的・経過
 石巻市より同一航路に就航していた友福汽船(株)及び網地島漁協の一般定期航路事業部門を併合して、余剰船舶を緊急医療船として同島に常駐してほしいとの要望から、海運局・宮城県・牡鹿町を加えた離島航路合併推進協議会を立ち上げたが、友福汽船が当時黒字に転じていたため、持ち株比率65%を主張して網地島漁協と対立、合併は難航した。これを解決するため、安定するまで、石巻市・牡鹿町・田代浜漁協が第三者出資し、昭和53年7月新会社を設立。平成18年には、石巻市の鮎川・網地島航路を併合し、以降島民の足として生活航路を担っている。

3 定款上の事業内容

- (1) 一般旅客定期航路事業
- (2) 売店及び食堂の経営
- (3) 観光事業
- (4) 上記に付帯する一切の事業
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の者の出資・出捐額	市以外の者の出資・出捐割合
10,000 千円	1,200 千円	12.0 %	株式会社友福	5,000 千円	50.0 %
			宮城県漁業協同組合	3,500 千円	35.0 %
			田代島離島振興委員会	300 千円	3.0 %

※出資額が多い順に上位3者(個人は「個人」と表記)を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H27期末	H28期末	H29期末
常勤	1	1	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	6	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	7	7	8
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員

	H27期末	H28期末	H29期末
常勤	17	15	14
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	4	7	6
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	21	22	20
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員(及び市退職者)とは、市の常勤の特別職及び一般職の者(及びそれらの職にあった者)で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- 一、安全運航
- 一、観光客誘致により、減少する島民利用者数を補い、航路を安全且つ発展させ、島民の利便を確保する。
- 一、田代島緊急医療船の常駐により、島民の生命の安全を守る。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度期
新造船の導入	隻	目標計画	0	0	2	0	0
		実績	0	0			
目標・指標の説明			現在所有の3隻は、いずれも老朽船であり、安全運航上大きな問題があるばかりでなく、旧式のため交換部品の調達が難しくなっている。又、修繕に多額の費用が発生する。このことから、3隻を高速の2隻とし、経費節減の上、1時間以上の所要時間を大幅に短縮し、旅客の利便向上に資する。				
目標未達の場合の要因分析			一、補助制度の変遷による、事務等の複雑化 一、造船計画の大幅な方針変更に伴う、協議時間の延長				

目標項目・指標	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
離島航路事業 (一般旅客定期航路事業)	繁忙期のゴールデンウィーク、夏季休暇期間など天気には恵まれなかったが、田代島の猫人気は更に拡大し、1年間を通して安定した輸送人員を確保し、過去最高の輸送人員であった平成28年度に迫る乗客数となった。	関係機関との調整が難航し、中央寄港地の開設計画が遅延している。 門脇発着場周辺は復興事業により、駐車場確保が課題となっている。	老朽化した3隻の船舶をリプレースし、2隻の新造船導入については、平成30年8月、12月に就航予定となっている。
事業の公共性、公益性	<p>田代島は石巻市、網地島は牡鹿町と行政が分かれていたが、平成17年4月1日、石巻市と牡鹿町他5町が合併し新石巻市となり政治、経済、生活、物流等(郵便の航送も)の殆どを新石巻市(石巻港・鮎川港)とのパイプで繋がれています。</p> <p>当航路は島民唯一の交通機関であり、生活物資、環境衛生車両等の輸送を担っており、田代、網地島両島の主力産業である沿岸及び養殖漁業の漁獲物の殆どが石巻市の魚市場に、弊社船により輸送されます。</p> <p>また無医村である田代島には緊急医療船として、当社船が常駐しており、無医村の田代島、病院が有っても緊急患者の搬送を要する網地島島民の、生命を支える、重要な役割を果たしています。</p> <p>以上のことから当航路は公益上必要不可欠な航路であると思料されます。</p> <p>また、近年においては、田代島の猫を目的とした観光客が急増し、石巻市における観光客増加の一翼を担っています。</p>		

9 市が期待する役割、市意見等(担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	網地島ライン株式会社
------	------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表 (B/S)	借方(科目)	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	流動資産	132,995	166,690	33,695	195,279	28,589
	うち 現金・預金	129,972	162,813	32,841	185,672	22,859
	固定資産	48,528	50,284	1,756	99,153	48,869
	有形固定資産	8,199	8,834	635	57,594	48,760
	無形固定資産	268	268		268	
	投資その他の資産	40,061	41,182	1,121	41,291	109
	資産の合計	181,523	216,974	35,451	294,432	77,458
	貸方(科目)	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	流動負債	171,002	170,485	▲ 517	120,043	▲ 50,442
	うち 短期借入金	146,000	151,000	5,000	98,000	▲ 53,000
	固定負債				92,604	92,604
	うち 長期借入金				92,604	92,604
	引当金	7,983	13,642	5,659	19,300	5,658
	うち 特別修繕準備金	7,983	13,642	5,659	19,300	5,658
	負債合計	178,985	184,127	5,142	231,947	47,820
	純資産	2,538	32,847	30,309	62,485	29,638
	うち 資本金	10,000	10,000		10,000	
	うち 資本剰余金					
	うち 利益剰余金	▲ 7,462	22,847	30,309	52,485	29,638
うち その他						
負債・純資産の部合計	181,523	216,974	35,451	294,432	77,458	
損益計算書 (P/L)	科目	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	売上高	116,623	124,067	7,444	118,925	▲ 5,142
	売上原価	176,596	166,993	▲ 9,603	171,696	4,703
	売上利益	▲ 59,973	▲ 42,926	17,047	▲ 52,771	▲ 9,845
	販売費・一般管理費	26,049	21,821	▲ 4,228	22,317	496
	営業利益	▲ 86,022	▲ 64,747	21,275	▲ 75,088	▲ 10,341
	営業外収益	126,124	109,113	▲ 17,011	153,544	44,431
	営業外費用	215	161	▲ 54	35,055	34,894
	経常利益	39,887	44,205	4,318	43,401	▲ 804
	特別利益	7,816		▲ 7,816	5	5
	特別損失		12	12		▲ 12
	税引前当期純利益	47,703	44,193	▲ 3,510	43,406	▲ 787
	法人税等	16,224	13,884	▲ 2,340	13,769	▲ 115
	当期純利益	31,479	30,309	▲ 1,170	29,637	▲ 672

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

キャッシュフロー計算書（C/S）	区分	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	21,006	30,881	9,875	33,605	2,724
	税金等調整前当期純利益	47,702	44,192	▲ 3,510	43,628	▲ 564
	減価償却費	675	1,284	609	1,487	203
	その他引当金の増加額	▲ 2,500	5,658	8,158	5,659	1
	受取利息及び受取配当金	▲ 31	▲ 28	3	▲ 15	13
	支払利息	190	141	▲ 49	644	503
	売上債権の増加額	314	▲ 641	▲ 955	▲ 29	612
	その他	▲ 25,344	▲ 19,725	5,619	▲ 17,769	1,956
	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,120	▲ 3,041	79	▲ 50,350	▲ 47,309
	投資有価証券の取得による支出	▲ 3,000		3,000		
	長期前払費用の増加額	▲ 120	▲ 121	▲ 1	▲ 121	
	有形固定資産の取得による支出		▲ 1,920	▲ 1,920	▲ 50,246	▲ 48,326
	有形固定資産の売却による収入				5	5
	長期貸付による支出				▲ 3	▲ 3
	その他の増減		▲ 1,000	▲ 1,000	15	1,015
	財務活動によるキャッシュフロー	▲ 6,000	5,000	11,000	39,604	34,604
	短期借入金の減少額	▲ 6,000		6,000	▲ 53,000	▲ 53,000
	短期借入金の増加額		5,000	5,000		▲ 5,000
	長期借入れによる収入				92,604	92,604
現金及び現金同等物に係る換算差額						
現金及び現金同等物の増減額	11,886	32,840	20,954	22,859	▲ 9,981	
現金及び現金同等物期首残高	118,087	129,973	11,886	162,813	32,840	
現金及び現金同等物期末残高	129,973	162,813	32,840	185,672	22,859	

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	5,910	4,575	▲ 1,335	4,788	213
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	5,910	4,575	▲ 1,335	4,788	213
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料					
借入金（期末残高）	51,000	51,000		51,000	
短期借入金	51,000	51,000			▲ 51,000
長期借入金				51,000	51,000
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名： 網地島ライン株式会社

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

4期連続で最終損益が黒字となり、平成27年度からは債務超過、平成28年度から累積欠損額も解消されている。
当期純利益は預金等の増加、負債の返済に充てられており、引き続き財務基盤の強化に主軸を置いている。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
流動資産	28,589,458円増	預金額の増加
有形固定資産	48,759,772円増	資産購入（中央地区事務所・待合所）
流動負債	50,442,591円減	短期借入金の減額

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

航路利用者は安定的な増加傾向にあり、当期純利益も昨年同様3,000万円と推移している。ただし、今後開設予定の中央地区発着場、新造船導入に伴い経費の増額が見込まれている。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
国庫補助金収入	42,882,538円増	航路欠損額増加に伴う補助金の増額
旅客運賃収入	4,734,670円減	旅客数の減に伴う収入減

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

今年度も旅客運賃収入増加や突発的な大規模船舶修繕が発生しなかったことを受け、当期純利益が大幅に増加した。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
有形固定資産の取得による支出	48,326,382円減	中央地区開設のため、土地、建物を購入したことによる支出
長期借入れによる収入	92,604,000円増	経営安定のための貸付金を短期から長期に切り替えたことによる増

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途
離島航路維持費補助金	297,289	確保維持補助金市負担分
離島航路事業者経営安定化補助金	4,491,110	離島緊急搬送対策費（田代島夜間船舶待機費用）、島民割引市独自実施分

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名： 網地島ライン株式会社

担当部署名： 復興政策部地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

平成26年11月に発足した島民・国・県・市・航路事業者・財務会計専門家による石巻～長渡航路改善協議会にて航路改善計画を策定し、国庫補助金を活用するため、協議を進めてきた。

現在は新造船の建設中であり、カーフェリーは平成30年8月、高速船は平成30年12月に就航予定である。

また、平成30年度は中央寄港地の開設も予定している。

（2）主要事業の成果、課題

東日本大震災後、航路利用者数は大幅に落ち込んだものの、観光施設の復旧、田代島の猫ブームなどにより、航路利用者は震災前を上回る活況となっている。

今後は、中央寄港地開設、新造船導入など、利用者の利便性の向上を図り収益増加に取り組む必要があるが、門脇発着場周辺は復興工事のため駐車場が不足しており、利用者の減が考えられ、新造船導入による経費の増加が見込まれている。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

平成27年度債務超過、平成28年度以降累積欠損も解消されている。

離島航路事業については、島民唯一の交通手段であり、物資の輸送手段であることから、運転資金を確保するため、県と市より貸付を実施、欠損額についても国、県、市より補助金を支出している。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

平成27年度以降、網地白浜海水浴場、田代島猫ブームなどにより、離島航路利用者は震災前を上回り、安定的な売上高を確保している。売上原価も近年減少していることから、事業による収益性は大幅に改善されている。

(3) キャッシュフロー計算書

平成27年度以降、収入増により税金等調整前当期純利益が大幅に改善されているが、中央寄港地の資産購入によりキャッシュは減少。長期借入金の増加により、期末残高は増加した。

(4) 市による財政・金融支援等

当該航路における補助については、平成23年度より事前内定方式に変更され、補助申請の基本となる事業計画に対しても、国、県、市、航路事業者にて構成される協議会を経て作成しているため、より適正な事業計画が検討されており、それに基づいた運航による収支欠損に対し補助がなされている。

また、補助算定の基礎となる会計についても、詳細な会計検査を国、県、市により毎年度実施しており、資金の適正な執行について指導が徹底されていることから、今後も当法人に関する欠損に対する補助を継続しながら、離島航路事業を維持していく。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

島民唯一の欠かすことのできない生活航路としての役割を担っており、安全安心な公共交通として、今後も継続して運航に努める必要がある。

今年度導入する新造船、中央寄港地の開設により大幅なコストの増加が見込まれるが、船舶数の減、維持費等の減額も見込まれることからコスト縮減など費用抑制を推進し、持続可能な公共交通としての維持を図る必要がある。